

県議員 奥村のり子 の
読者ニュース

2016年12月25日 第247号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



前回のつづき、子どもの貧困対策について県の答弁をご紹介します。
福祉保健部長「子供の貧困問題を解決するためには、教育支援、生活支援、就労支援、経済的支援など多岐にわたる施策を総合的に実施し、貧困の世代間連鎖を断ち切ることが必要です。県計画の策定にあたっては、福祉保健部を中心に庁内事業関係課による連携体制のもと検討を重ねてきたところですが、本年11月に各部署主管課を含む9部署18課で構成する『子供の貧困対策庁内検討

「子どもの貧困、実態把握はない
今後検討していきたい」(答弁)

会」として体制を再編し、今後の対策の推進に全庁的に取り組んでまいります。

また、計画の策定途中ではありますが、既存施策に加え、新たな取り組みとして『和歌山県大学生等進学給付金』『子どもの居場所づくり』『和歌山子ども食堂支援』の3事業を創設し、平成28年度から実施しているところですが、

なお、貧困の実態把握については、従来施策の実施過程における実態の把握や調査等により現状を把握しているところですが、県全体での子供の状況として調査した実績はなく、今後さらなる施策の検討に向け調査の必要性は十分認識しています。子供の貧困は、子供の置かれている状態や生活習慣による学習への影響など、内面的なものも含めた幅広く根深い問題でありますので、今後



17日に行われた医療関係者後援会の社会保障学習会です。

の調査のあり方については国の動向や先進事例を参考に、引き続き検討していきたいと考えています。以上です。
さる年大変お世話になりました。とり年もどうぞよろしくおねがいします。
(奥村のり子)

「アベ強行国会」閉幕
自公維に総選挙で審判を

17日、「アベ強行国会」ともいべき臨時国会が閉会しました。2度も会期延長、強行・暴走・暴言と自公維の「数の力」で環太平洋連携協定(TPP)承認、年金カット法、カジノ解禁法とどれも世論調査で「賛成」の2倍・3倍も「反対」の大悪法を可決。「私が述べたことを理解しないなら、こんな議論、何時間やっても同じだ」とアベ首相は、国会議員にさえ聞く耳をもたない独裁者です。

しかし、カジノ法は1年かけてつくる「実税法」がないと開帳できない。年金カット法は5年後から。TPP発効はトランプ米次期大統領が「離脱」表明し絶望的。日米2国間協議が焦点になりそう。実施まで時間があり、その間に市民と野党の共闘を確かなものにして自公維あわせて過半数以下に追い込み戦争法とともに廃案にする道があります。

アベ首相が期待していた日口首脳会談は「領土問題進展なし」で交渉は大失敗。「国民の大半ががっかり」(自民幹事長)と。そこへ沖縄で欠陥機オスプレイが墜落。在沖米軍トップが「住宅や県民に被害がなく感謝せよ」と占領者意識丸出しの暴言。1週間もたたないうちに飛行再開に全国で怒り沸騰。こんな情勢で迎えそうな新年、衆院議員も任期の半分がすぎ「解散総選挙」が濃厚ではないでしょうか。政治を変えるチャンスにしましょう。

読者の皆さん良いお年をお迎え下さり来年もよろしくお願い申し上げます。(編集室)

のり子の週刊日誌II (主なもの)

- 12月23日 会議
- 24日 パーム前宣伝、楠見後援会懇親会
- 25日 地域訪問
- 26日 地域訪問
- 27日 国会議、庁内訪問、医労連懇談
- 28日 ティーサービスボランティア
- 29日 未定

私の一般質問

こんにちは。中村あさとです。2日に一般質問を行いました。一つは、子どもの遊び場についてです。今の子ども達を取り巻く社会環境は、子ども達を外遊びから遠ざける様々な要因を含んでいます。

公園の設置や環境整備は、近隣の方々の生活環境の問題もあり、困難な課題ですが、子ども達の社会性を培い、身体的な能力の向上など子ども達の成長には不可欠であり、社会事情や生活習慣の変化を考えれば、子どもの遊び場としての公園の設置などが必要とし整備を求めました。

二点目は、義務教育学校についてです。この制度は、研究が進むにつれ課題なども明らかになってきています。和歌山市としても、どのような影響があるかが起ころるか、様々な点で注意が必要で

子どもの遊び場と義務教育学校で聞く

す。課題の解消には新しい制度に目を向けるだけではなく、子ども達の学校生活にこそ心を砕けるような体制が必要であり、十分な加配を行うよう求めました。

14日には、年内最後の議会が終りました。今年は、4月に子ども医療費が入院費のみ中学校卒業まで無料となり子育て世代の要求が一步前進しました。その後も通院費も無料にと引き続いて訴えを行い、議会や市長を動かして、8月には通院費も無料となりました。多くの皆さんに喜ばれると共に、私にとっても市民の声が政治を動かせる実感する機会となり市議会議員として貴重な経験をさせていただきました。

最後になりましたが、一年間、多くの皆様にお支えいただき本当にありがとうございました。来年も暮らしを支える政治を前進させるため頑張りたいと思います。それでは、良い年をお迎えください。



お知らせ
赤旗日曜版
は今年1月号
最終号です。1
1日と8日お
は合しますが、
届します。休
ニュースは
みまます。

党市議会議員
中村あさと

